

平成30年度 厚生労働科学研究費補助金
エイズ対策政策研究事業

「PrEPに関するアンケート調査」報告書
2019年3月



HIV感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制に関する研究班

ごあいさつ

2018年10～11月に実施した本調査には、多くの方々にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様に感謝します。

HIVをコンドームのみならず、PrEPという抗HIV薬を服薬することで予防する方法を、アジアでも選択できる国が増えてきています。

日本の実態が見えにくい中で、本調査を実施しました。この結果を皆様にフィードバックするとともに、今後のエイズ対策に役立てていきたいとおもいます。

研究分担者 生島 嗣 (特定非営利活動法人ぶれいす東京 代表)

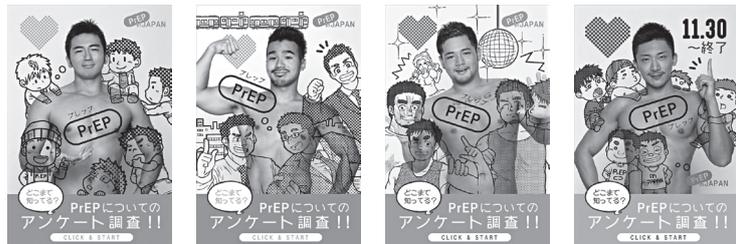
研究目的

プレップ
PrEP (Pre-Exposure Prophylaxis : 曝露前予防) による HIV 感染予防の有効性を示す研究データは、近年海外で数多く発表され、各国において PrEP プログラムを導入する動きが相次いでいます。しかしながら、性行為や予防行動に関する考え方は各国・対象層ごとに多様であり、その文脈を踏まえた上で PrEP プログラムの導入を検討することが求められます。そこで本研究は、日本の MSM (Men who have sex with men : 男性とセックスをする男性) コミュニティにおける PrEP の認知度、利用意向性、課題等の現状を調べ、日本で PrEP プログラムを導入するにあたり必要となる医療サービスの提供体制、医療・カウンセリング等の提供に必要な人的資源、コミュニティに訴求性の高い啓発資材等に関するニーズ等を明らかにすることを目的としました。本研究で得た結果は、国内で PrEP プログラムを実施した場合の費用対効果の分析に用いる基礎資料としても活用します。

研究方法

本研究では、MSM を対象とした無記名自記式アンケート調査を行いました。文献調査で得た情報を参考に質問紙を作成し、回答のしやすさや分かりにくい表現を客観的に確認するために 10 人の MSM に協力を得て、プレテストを実施しました。その後、プレテストをもとに修正を加えた質問紙を用いて、本調査を行いました。

本調査は、MSM 向けの GPS 機能付き出会い系アプリの利用者を対象とし、調査協力者のリクルートのため、N 社が運営する国内最大のアプリの起動時にランダムに表示されるバナー広告を有償で 2018 年 10 月 31 日～同年 11 月 30 日の 1 か月間出稿しました。この広告から、調査の説明を行うための限定公開ページに誘導し、同意を得た人に全 66 問からなるアンケート調査を実施しました。アンケート調査の冒頭に、研究についての説明文書を掲載し、研究への協力の意思がある人は回答へ進む形式としました。これにより、回答をもって同意がとれたものとなりました。



(倫理面への配慮)

調査実施に関しては、特定非営利活動法人ぶれいす東京倫理委員会にて審査を受け、承認されました。調査協力者には Web サイト上で、匿名の調査であること、自由意志による回答で、いつでも回答がやめられることについて説明を行い、同意を得ました。

どこまで知ってる? PrEPについてのアンケート調査

単純集計結果

1 性別

Q. あなたの性別 (生まれた時の身体の性) は何ですか?

	n	%
男性	6231	99.7%
女性	16	0.3%
合計	6247	100.0%

回答者の99.7%は男性であった。

2 性別

Q. 次のうち、あなたの性別を表す表現として最も近いのはどれですか?

	n	%
男性	6098	97.6%
女性として生まれたが男性 (FtM)	14	0.2%
男性として生まれたが女性 (MtF)	78	1.2%
女性	1	0.0%
その他	56	0.9%
合計	6247	100.0%

自身を男性と認識している回答者が97.6%を占める一方、「FtM」、「MtF」が1.5%いた。

3 セクシュアリティ

Q. あなたは次のうちどれに一番近いですか?

	n	%
ゲイ	5120	82.0%
バイセクシュアル	993	15.9%
レズビアン	0	0.0%
異性愛者	24	0.4%
わからない	74	1.2%
その他	36	0.6%
合計	6247	100.0%

「ゲイ」「バイセクシュアル」が回答者の97.9%を占めた。

4 年齢

現在の年齢を教えてください。※数字入力可

	n	%
15歳未満	0	0.0%
15～19歳	139	2.2%
20～24歳	607	9.7%
25～29歳	923	14.8%
30～34歳	1006	16.1%
35～39歳	916	14.7%
40～44歳	1050	16.8%
45～49歳	871	13.9%
50～54歳	455	7.3%
55～59歳	197	3.2%
60～64歳	62	1.0%
65～69歳	16	0.3%
70～74歳	3	0.0%
75～79歳	1	0.0%
80歳以上	1	0.0%
合計	6247	100.0%

10代:2.2%、20代:24.5%、30代:30.8%、40代:30.8%、50歳以上:11.8%であった。10～30代で6割弱を占めた。

5 居住地

Q. お住まいの住所を教えてください。

	n	%
北海道・東北ブロック		
北海道	223	3.6%
青森県	23	0.4%
岩手県	41	0.7%
宮城県	70	1.1%
秋田県	26	0.4%
山形県	28	0.4%
福島県	57	0.9%
関東・甲信越ブロック		
茨城県	97	1.6%
栃木県	75	1.2%
群馬県	50	0.8%
埼玉県	308	4.9%
千葉県	310	5.0%
東京都	1854	29.7%
神奈川県	514	8.2%
新潟県	48	0.8%
山梨県	27	0.4%
長野県	49	0.8%
北陸ブロック		
富山県	21	0.3%
石川県	32	0.5%
福井県	18	0.3%
東海ブロック		
岐阜県	61	1.0%
静岡県	127	2.0%
愛知県	327	5.2%
三重県	53	0.8%
近畿ブロック		
滋賀県	24	0.4%
京都府	95	1.5%
大阪府	566	9.1%
兵庫県	173	2.8%
奈良県	44	0.7%
和歌山県	31	0.5%
中国・四国ブロック		
鳥取県	7	0.1%
島根県	8	0.1%
岡山県	49	0.8%
広島県	87	1.4%
山口県	39	0.6%
徳島県	16	0.3%
香川県	26	0.4%
愛媛県	29	0.5%
高知県	16	0.3%

九州・沖縄ブロック

福岡県	229	3.7%
佐賀県	22	0.4%
長崎県	24	0.4%
熊本県	42	0.7%
大分県	31	0.5%
宮崎県	25	0.4%
鹿児島県	52	0.8%
沖縄県	141	2.3%
海外	32	0.5%
合計	6247	100.0%

ブロック別で見ると、北海道・東北：7.5%、関東・甲信越：53.3%、北陸：1.1%、東海：9.1%、近畿：14.9%、中国・四国：4.4%、九州・沖縄：9.1%、海外：0.5%であった。

6 国籍

Q. あなたの国籍を教えてください。

	n	%
日本	6032	96.6%
韓国	28	0.4%
北朝鮮	0	0.0%
中国	51	0.8%
香港	4	0.1%
台湾	14	0.2%
フィリピン	12	0.2%
タイ	5	0.1%
ベトナム	6	0.1%
米国	25	0.4%
英国	11	0.2%
ブラジル	14	0.2%
ペルー	8	0.1%
ネパール	0	0.0%
モンゴル	3	0.0%
ミャンマー	1	0.0%
その他	33	0.5%
合計	6247	100.0%

回答者の多くが日本国籍だった。

7 学歴

Q. あなたの最終学歴を教えてください。

	n	%
中学校在学中	1	0.0%
中学校中退	9	0.1%
中学校卒業	80	1.3%
高等学校在学中	48	0.8%
高等学校中退	110	1.8%
高等学校卒業	982	15.7%
専門学校在学中	59	0.9%
専門学校中退	92	1.5%
専門学校卒業	869	13.9%
高専・短期大学在学中	17	0.3%
高専・短期大学中退	20	0.3%
高専・短期大学卒業	179	2.9%
大学在学中	269	4.3%
大学中退	269	4.3%
大学卒業	2562	41.0%
大学院在学中	75	1.2%
大学院中退	56	0.9%
大学院修了	541	8.7%
その他	9	0.1%
合計	6247	100.0%

8

Q. 先月末の1週間に、収入をともなう就労をしましたか
(自営の手伝いや内職を含む) ?

	n	%
主に就労	5343	85.9%
家事などのかたわら就労	88	1.4%
通学のかたわら就労	294	4.7%
休んでいたか、休職中	191	3.1%
就労していない(通学のみ含む)	306	4.9%
小計	6222	100.0%
無回答	25	
合計	6247	

8割以上の回答者が主に就労をしている状況だった。

9

Q. この1年間の、あなたのすべての仕事からの収入(税込)は、どのくらいでしたか?

	n	%
なし(0円)	176	2.8%
～99万円	490	7.9%
100～199万円	492	7.9%
200～299万円	927	15.0%
300～399万円	1132	18.3%
400～499万円	949	15.3%
500～699万円	1060	17.1%
700～999万円	614	9.9%
1,000～1,499万円	234	3.8%
1,500万円以上	122	2.0%
小計	6196	100.0%
無回答	51	
合計	6247	

最も多い収入層は「300～399万円」であった。一方、1,000万円以上の高所得者も5.7%いた。

10

Q. 今現在、特定のパートナーはいますか？

	n	%
いる	2236	38.3%
いない	3596	61.7%
小計	5832	100.0%
無回答	415	
合計	6247	

11

Q. 過去6か月間に、何人の男性とセックスをしましたか？

	n	%
0人	622	10.8%
1人	826	14.3%
2～5人	2203	38.2%
6～10人	1104	19.1%
11～20人	550	9.5%
21～50人	368	6.4%
51～100人	72	1.2%
101人以上	27	0.5%
小計	5772	100.0%
無回答	475	
合計	6247	

「2～5人」が最も多く38.2%を占めた。また、中央値が4人に対して平均値が7.96人であり、セックスの相手の人数が比較的多い回答者が一部いることが分かった。

12

Q. 過去6か月間にセックスをした男性のうち、何人がHIV陽性でしたか？

	n	%
0人	5231	91.3%
1人	254	4.4%
2人以上	247	4.3%
小計	5732	100.0%
無回答	515	
合計	6247	

13

Q. 過去6か月間のアナルセックスの頻度はおおよそどのくらいですか？

	n	%
1週間に複数回	317	5.5%
1週間に1回	758	13.0%
1か月に1回	1423	24.5%
1か月に1回未満	1920	33.1%
まったくしていない	1391	23.9%
小計	5809	100.0%
無回答	438	
合計	6247	

約9割は過去6か月間に1人以上の男性とセックスをしたと回答している一方、同期間内にアナルセックスを経験したと回答している人の割合は76.1%であった。

14

Q. 過去6か月間のアナルセックスのときのコンドームの使用頻度はどのくらいですか？

	n	%
毎回必ず使っていた	1230	27.8%
大体使っていた	1251	28.3%
時々使っていた	705	16.0%
ほとんど使っていなかった	583	13.2%
まったく使っていなかった	650	14.7%
小計	4419	100.0%
非該当	1391	
無回答	437	
合計	6247	

前問の「過去6か月間のアナルセックスの頻度はおおよそどのくらいですか？」に対して「まったくしていない」と回答した1,391人は、本質問を非該当扱いとした。

15

Q. 過去6か月間に、自分がコンドームを使用しない状態で、挿入側(タチ)のアナルセックスを何回しましたか？

	n	%
0回	3556	62.3%
1～4回	1454	25.5%
5～10回	375	6.6%
10回以上	324	5.7%
小計	5709	100.0%
無回答	538	
合計	6247	

16

Q. 過去6か月間に、相手の男性がコンドームを使用しない状態で、受け側（ネコ）のアナルセックスを何回しましたか？

	n	%
0回	3393	59.5%
1～4回	1545	27.1%
5～10回	354	6.2%
10回以上	407	7.1%
小計	5699	100.0%
無回答	548	
合計	6247	

17

Q. 過去6か月間に、HIV陽性の男性と、挿入側（タチ）のアナルセックスを、コンドームを使用せずに何回しましたか？

	n	%
0回	5289	93.4%
1～4回	240	4.2%
5～10回	61	1.1%
10回以上	74	1.3%
小計	5664	100.0%
無回答	583	
合計	6247	

18

Q. 過去6か月間に、アナルセックスのとき、自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、中でイク行為（自分がタチ）がありましたか？

	n	%
なし	4175	73.4%
時々	1033	18.2%
頻繁に	481	8.5%
小計	5689	100.0%
無回答	558	
合計	6247	

19

Q. 過去6か月間に、アナルセックスのとき、相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、中でイク行為（自分がウケ）がありましたか？

	n	%
なし	4137	72.8%
時々	1063	18.7%
頻繁に	480	8.5%
小計	5680	100.0%
無回答	567	
合計	6247	

20

Q. 過去6か月間の膣（ちつ）性交の頻度はおおよそどのくらいですか？

	n	%
1週間に複数回	92	1.7%
1週間に1回	138	2.5%
1か月に1回	284	5.1%
1か月に1回未満	397	7.2%
まったくしていない	4606	83.5%
小計	5517	100.0%
無回答	730	
合計	6247	

16.5%の回答者は、過去6か月間に膣性交を経験したと回答している。

21

Q. もしもセックスをする相手から「コンドームを使おう」と言われたとしたら、相手の印象はどのように変化しますか？
※普段の使用状況に関わらずお答えください

	その場限りの セックスの相手		セフレ		パートナー	
	n	%	n	%	n	%
印象が良くなる	2650	47.3%	2209	39.6%	1640	29.4%
変わらない	2668	47.7%	3040	54.4%	3307	59.2%
印象が悪くなる	279	5.0%	336	6.0%	636	11.4%
小計	5597	100.0%	5585	100.0%	5583	100.0%
無回答	650		662		664	
合計	6247		6247		6247	

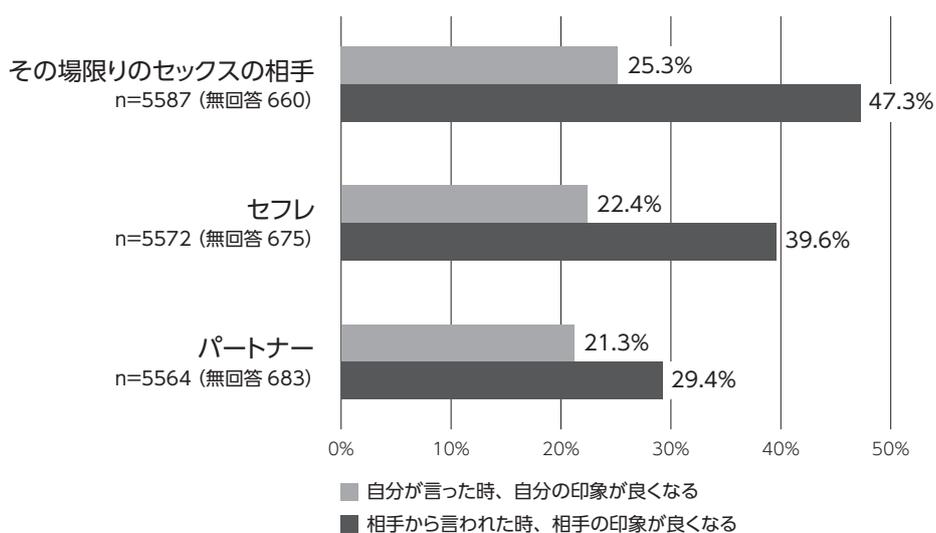
「印象が良くなる」と回答した人の割合は、その場限りのセックスの相手、セフレ、パートナーの順番で低くなった。

22

Q. もしもあなたが「コンドームを使おう」とセックスをする相手に言ったとしたら、あなたの印象はどのように変化すると思いますか？ ※普段の使用状況に関わらずお答えください

	その場限りの セックスの相手		セフレ		パートナー	
	n	%	n	%	n	%
印象が良くなる	1412	25.3%	1249	22.4%	1185	21.3%
変わらない	3268	58.5%	3615	64.9%	3622	65.1%
印象が悪くなる	907	16.2%	708	12.7%	757	13.6%
小計	5587	100.0%	5572	100.0%	5564	100.0%
無回答	660		675		683	
合計	6247		6247		6247	

「コンドームを使おう」による印象の変化



自分からコンドームを使おうと言った場合に「印象が良くなる」と予想した人は 20～25% であった。一方、自分が言われた場合にどう思うかについては、その場限りのセックスの相手からであれば 47.3% が「印象が良くなる」と回答し、合わせて 9 割以上の人が「良くなる」「変わらない」と回答していた。

23

Q. セーフーセックスを実践している自信はありますか？

	n	%
とてもある	963	17.2%
まあある	2558	45.8%
あまりない	1501	26.9%
まったくない	561	10.0%
小計	5583	100.0%
無回答	664	
合計	6247	

4割近い回答者が「あまりない」「まったくない」と回答していた。

24

Q. 今までセックスをすることで金銭を受け取ることはありましたか？

	n	%
6か月以上前にある	887	15.9%
過去6か月間にある	164	2.9%
今までに一度もない	4541	81.2%
小計	5592	100.0%
無回答	655	
合計	6247	

今までに一度でも経験のある回答者の割合は18.8%であった。

25

Q. これまでにHIV抗体検査を受けた経験はありますか？
(医療機関で提案されたものを含む)

	n	%
ある	4001	71.4%
ない	1602	28.6%
小計	5603	100.0%
無回答	644	
合計	6247	

26

Q. 最新のHIV検査の結果はどうか？

	n	%
陰性(感染していなかった)	3439	86.3%
陽性(感染していた)	490	12.3%
結果を待っている	25	0.6%
結果を受け取らなかった	19	0.5%
その他	14	0.4%
小計	3987	100.0%
非該当	1602	
無回答	658	
合計	6247	

27

Q. HIV陽性と分かったのはどこですか？

	n	%
保健所/検査所	161	34.1%
医療機関	269	57.0%
郵送検査キット	10	2.1%
HIV検査イベント	11	2.3%
健康診断のオプション	1	0.2%
献血	18	3.8%
その他	2	0.4%
小計	472	100.0%
非該当	5099	
無回答	676	
合計	6247	

陽性者の半数以上が医療機関でHIV陽性と分かったと回答していた。

28

Q. どのくらいの頻度でHIV検査を受けていますか？

	n	%
3か月未満に1回程度	179	5.2%
3～6か月に1回程度	731	21.2%
1年に1回程度	1023	29.6%
数年に1回程度	916	26.5%
過去に1度しか受けたことがない	607	17.6%
小計	3456	100.0%
非該当	2092	
無回答	699	
合計	6247	

HIV抗体検査を受けたことがない1,602人と、HIV陽性と回答した490人は、本質問を非該当扱いとした。

29

Q. これから先、自分自身が HIV に感染する可能性はどのくらいあると思いますか？

	n	%
とてもある	361	7.2%
まあある	2202	43.7%
あまりない	2167	43.0%
まったくない	306	6.1%
小計	5036	100.0%
非該当	490	
無回答	721	
合計	6247	

50.9%の回答者が、「とてもある」「まあある」と回答していた。

30

Q. あなたにとって HIV は身近なものですか？

	n	%
とても身近	1045	19.1%
身近	2119	38.7%
身近ではない	1883	34.4%
まったく身近ではない	432	7.9%
小計	5479	100.0%
無回答	768	
合計	6247	

「とても身近」「身近」が57.7%、「まったく身近ではない」「身近ではない」が42.3%であった。

31

Q. 友達や知り合いに HIV に感染している人はいますか？

	n	%
いる	1726	31.5%
いると思う	896	16.3%
いないと思う	1909	34.8%
いない	954	17.4%
小計	5485	100.0%
無回答	762	
合計	6247	

約半数の回答者が、「いないと思う」「いない」と回答していた。

32

Q. 次の性感染症にかかったことはありますか？

梅毒

	n	%
今までに一度もない	4481	82.4%
6か月以上前	843	15.5%
過去6か月間	114	2.1%
小計	5438	100.0%
無回答	809	
合計	6247	

淋病

	n	%
今までに一度もない	4935	91.0%
6か月以上前	434	8.0%
過去6か月間	54	1.0%
小計	5423	100.0%
無回答	824	
合計	6247	

クラミジア

	n	%
今までに一度もない	4698	86.9%
6か月以上前	623	11.5%
過去6か月間	87	1.6%
小計	5408	100.0%
無回答	839	
合計	6247	

尖圭コンジローマ

	n	%
今までに一度もない	4911	90.7%
6か月以上前	450	8.3%
過去6か月間	55	1.0%
小計	5416	100.0%
無回答	831	
合計	6247	

口唇ヘルペス

	n	%
今までに一度もない	4613	85.3%
6か月以上前	554	10.2%
過去6か月間	244	4.5%
小計	5411	100.0%
無回答	836	
合計	6247	

毛じらみ

	n	%
今までに一度もない	3411	62.8%
6か月以上前にある	1887	34.7%
過去6か月間にある	137	2.5%
小計	5435	100.0%
無回答	812	
合計	6247	

A型肝炎

	n	%
今までに一度もない	5214	96.7%
6か月以上前にある	127	2.4%
過去6か月間にある	50	0.9%
小計	5391	100.0%
無回答	856	
合計	6247	

B型肝炎

	n	%
今までに一度もない	4785	88.5%
6か月以上前にある	579	10.7%
過去6か月間にある	45	0.8%
小計	5409	100.0%
無回答	838	
合計	6247	

C型肝炎

	n	%
今までに一度もない	5324	98.8%
6か月以上前にある	50	0.9%
過去6か月間にある	13	0.2%
小計	5387	100.0%
無回答	860	
合計	6247	

33

Q. 次のうち、定期的に飲んでいるものはありますか？
※複数回答可

	n	%
医師の処方箋による医薬品	2000	50.4%
薬局等で購入した医薬品/サプリ	2270	57.2%
プロテイン	1679	42.3%
その他（具体的に）	84	2.1%
全体	3972	
無回答	2275	
合計	6247	

「その他」と回答した人の一部は「特になし」と記載していた。

34

Q. 次のうち、どのワクチン（予防接種）を受けたことがありますか？ ※複数回答可

	n	%
A型肝炎	406	10.1%
B型肝炎	658	16.4%
HPV（ヒトパピローマウイルス）	64	1.6%
インフルエンザ	3859	96.1%
その他（具体的に）	78	1.9%
全体	4014	
無回答	2233	
合計	6247	

「その他」と回答した人の一部は「特になし」と記載していた。

35

Q. 自身のセクシュアリティについて親にカミングアウトした経験はありますか？

	n	%
両親ともにした	523	9.6%
父親のみにした	33	0.6%
母親のみにした	416	7.7%
両親ともにしていない／しなかった	3713	68.4%
伝えていないが、父親／母親／両親は知っている／知っていた	403	7.4%
親はいない	342	6.3%
小計	5430	100.0%
無回答	817	
合計	6247	

両親いずれか、あるいは両方にした回答者の割合は17.9%であった。

36

Q. 職場や学校でカミングアウトしていますか？

	n	%
広くしている(隠していない)	420	7.7%
信頼できる人にのみしている	1563	28.7%
まったくしていない	3462	63.6%
小計	5445	100.0%
無回答	802	
合計	6247	

37

Q. 医療従事者に自身のセクシュアリティと性行動について気軽に話せますか？

	n	%
とても気軽に話せる	358	6.6%
まあ気軽に話せる	1279	23.5%
あまり気軽に話せない	1954	35.9%
まったく気軽に話せない	1850	34.0%
小計	5441	100.0%
無回答	806	
合計	6247	

7割近い回答者が「あまり気軽に話せない」「まったく気軽に話せない」と回答していた。

38

Q. 過去6か月間に、お酒を飲みましたか？

	n	%
ほぼ毎日飲んでいました	961	17.7%
ときどき飲んでいました	3514	64.6%
まったく飲んでいない	961	17.7%
小計	5436	100.0%
無回答	811	
合計	6247	

39

Q. 過去6か月間に、たばこを吸いましたか？

	n	%
ほぼ毎日吸っていた	1411	26.0%
ときどき吸っていた	338	6.2%
まったく吸っていない	3676	67.8%
小計	5425	100.0%
無回答	822	
合計	6247	

40

Q. ドラッグ・薬物を使った経験はありますか？

	n	%
過去6か月間にある	235	4.3%
過去6か月以上前にある	1213	22.3%
今までに一度もない	4003	73.4%
小計	5451	100.0%
無回答	796	
合計	6247	

今までに一度でも使ったことがある回答者の割合は26.6%であった。

41

Q. これまでにドラッグ・薬物を使用しながらのセックス(Chemsex)をしたことがありますか？

	n	%
過去6か月間にある	199	13.8%
過去6か月以上前にある	1098	76.2%
今までに一度もない	144	10.0%
小計	1441	100.0%
非該当	4003	
無回答	803	
合計	6247	

ドラッグ・薬物使用経験のある回答者のうち、Chemsex経験者は90.0%であった。

42

Q. 初めてドラッグ・薬物を使用したときの状況は次のうちどれに近いですか？

	n	%
自ら望んで	382	27.0%
相手に誘われて	939	66.3%
自分の同意のないまま摂取していた	95	6.7%
小計	1416	100.0%
非該当	4003	
無回答	828	
合計	6247	

43

Q. 過去6か月間に、ラッシュ (RUSH・亜硝酸アミル・ポップァーズ) を使用しましたか？

	n	%
はい	382	7.1%
いいえ	5016	92.9%
小計	5398	100.0%
無回答	849	
合計	6247	

44

Q. ラッシュ (RUSH・亜硝酸アミル・ポップァーズ) はどのように入手しましたか？ ※複数回答可

	n	%
インターネットで購入	20	5.4%
友人から入手	75	20.3%
暴力団等から入手した	3	0.8%
海外で自分で入手した	55	14.9%
セックスの相手から入手した	208	56.4%
その他	46	12.5%
全体	369	
非該当	5016	
無回答	862	
合計	6247	

「その他」の中には「相手が持っていた」という回答が複数あった。

45

Q. 過去6か月間に、覚せい剤 (シャブ・エス・スピード・アイス・クリスタルメス) を使用しましたか？

	n	%
はい	96	1.8%
いいえ	5235	98.2%
小計	5331	100.0%
無回答	916	
合計	6247	

46

Q. 覚せい剤 (シャブ・エス・スピード・アイス・クリスタルメス) はどのように入手しましたか？ ※複数回答可

	n	%
インターネットで購入	12	11.9%
友人から入手	26	25.7%
暴力団等から入手した	14	13.9%
海外で自分で入手した	4	4.0%
セックスの相手から入手した	61	60.4%
その他	9	8.9%
全体	101	
非該当	5235	
無回答	911	
合計	6247	

Q. 以下、HIV/ エイズや PrEP に関する文章について、正しいと思うものに○を、間違っていると思うものに×をつけてください。

※アンケート終了後に解説ページに案内した (21 ページ参照)。

HIV に感染していても、治療を継続することで血液中から HIV がほとんど見つからなくなるレベルに減少する。

	n	%
○	3611	72.0%
×	1401	28.0%
小計	5012	100.0%
無回答	1235	
合計	6247	

HIV に感染していても、治療で血液中に HIV が見つからないレベルの状態(検出限界以下)が継続していれば、セックスを介して相手に感染させるリスクは事実上ない。

	n	%
○	1797	35.9%
×	3211	64.1%
小計	5008	100.0%
無回答	1239	
合計	6247	

PrEP を始める前に検査を受けて HIV 陰性を確認する必要がある。

	n	%
○	4408	88.5%
×	570	11.5%
小計	4978	100.0%
無回答	1269	
合計	6247	

PrEP を始めた後は、3 ヶ月ごとに定期的に医師の診察を受けなければならない。

	n	%
○	3941	79.2%
×	1034	20.8%
小計	4975	100.0%
無回答	1272	
合計	6247	

PrEP を始めた後は、一生飲む必要はなく、やめることができる。

	n	%
○	2874	57.7%
×	2103	42.3%
小計	4977	100.0%
無回答	1270	
合計	6247	

PrEP の薬にはジェネリック薬 (後発医薬品) も存在する。

	n	%
○	2422	48.7%
×	2547	51.3%
小計	4969	100.0%
無回答	1278	
合計	6247	

海外では、性行為の前後の決められた時間に服薬する PrEP も提案されている。

	n	%
○	3795	76.8%
×	1149	23.2%
小計	4944	100.0%
無回答	1303	
合計	6247	

PrEP の薬を服用していても HIV 以外の性感染症にはかかってしまうので、性感染症の予防にはコンドームの使用が有効である。

	n	%
○	4817	97.3%
×	135	2.7%
小計	4952	100.0%
無回答	1295	
合計	6247	

全ての正答は○である。「HIV に感染していても、治療で血液中に HIV が見つからないレベルの状態(検出限界以下)が継続していれば、セックスを介して相手に感染させるリスクは事実上ない。」の正答率が最も低かった。

48

Q. PrEP(HIV暴露前予防)とは何かを知っていましたか？

	n	%
はい	1719	36.3%
いいえ	3016	63.7%
小計	4735	100.0%
非該当	490	
無回答	1022	
合計	6247	

本質問以降、陽性者490人は非該当とした。

49

Q. PrEPをどこで知りましたか？ ※複数回答可

	n	%
新聞や雑誌	163	9.5%
インターネット	1456	85.0%
学術雑誌	98	5.7%
友人	317	18.5%
医師	98	5.7%
その他	88	5.1%
全体	1712	
非該当	3506	
無回答	1029	
合計	6247	

前問の「PrEP(HIV暴露前予防)とは何かを知っていましたか？」に対して「いいえ」と回答した3,016人も、本質問を非該当扱いとした。「その他」には海外の出会い系アプリ、海外ドラマ・テレビ、ゲイ・メディア、コミュニティセンター、SH外来、アンケート調査のほか、口コミ(外国の友人、セフレ、立ち話を聞いた、等)などが含まれていた。

50

Q. PrEPの薬を飲んだことはありますか？

	n	%
過去に飲んだことがある	43	2.5%
現在飲んでいる	73	4.3%
一度も飲んだことがない	1600	93.2%
小計	1716	100.0%
非該当	3506	
無回答	1025	
合計	6247	

前問の「PrEP(HIV暴露前予防)とは何かを知っていましたか？」に対して「いいえ」と回答した3,016人も、本質問を非該当扱いとした。

51

Q. PrEPの薬はどこで入手していますか/していましたか？ ※複数回答可

	n	%
インターネットで購入	73	64.6%
友人から譲渡・購入	8	7.1%
海外の医療機関	23	20.4%
海外のNGO/NPO	0	0.0%
国内の医療機関	17	15.0%
その他	1	0.9%
全体	113	
非該当	5106	
無回答	1028	
合計	6247	

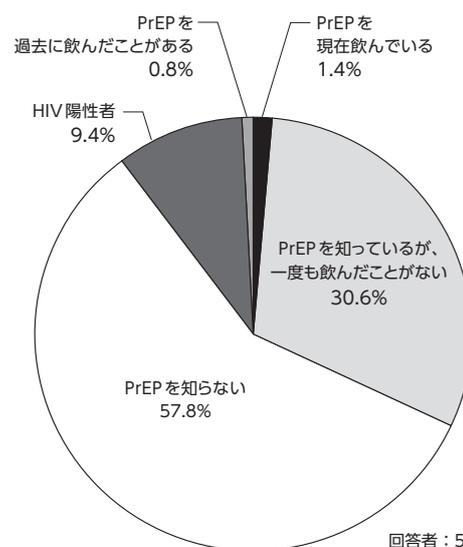
「PrEP(HIV暴露前予防)とは何かを知っていましたか？」に対して「いいえ」と回答した3,016人と、「PrEPの薬を飲んだことはありますか？」に対して「一度も飲んだことがない」と回答した1,600人も、本質問を非該当扱いとした。

52

Q. PrEPの薬の服薬方法はどれですか/でしたか？

	n	%
毎日飲んでいる/飲んでいて	58	51.3%
リスク行為の前後だけ飲んでいる/飲んでいて(オンデマンド)	55	48.7%
小計	113	100.0%
非該当	5106	
無回答	1028	
合計	6247	

PrEPの認知と経験



服薬中のHIV陽性者は体内のウィルスをコントロールできていると推察され、PrEPを飲んでいる人と合わせ、パイオメディカルによるHIV感染予防をしている人がいる。

53

Q. PrEPに関連して、定期的な医師の診察を受けていますか / 受けていましたか？

	n	%
定期的に受けている / 受けていた	32	28.1%
まったく受けていない / 受けていなかった	49	43.0%
定期的ではないが受けている / 受けていた	17	14.9%
受けたいが場所が見つからない / わからない	13	11.4%
その他	3	2.6%
小計	114	100.0%
非該当	5106	
無回答	1027	
合計	6247	

54

Q. PrEPの薬はどこで入手出来ると思いますか？
※複数回答可

	n	%
インターネットで購入	1941	43.6%
友人から譲渡・購入	116	2.6%
海外の医療機関	1681	37.7%
海外のNGO/NPO	471	10.6%
国内の医療機関	2988	67.1%
その他	67	1.5%
全体	4456	
非該当	490	
無回答	1301	
合計	6247	

「その他」の中には「わからない」といった回答が多数含まれていた。

55

Q. PrEPの薬が日本で入手可能になったら、あなたは使いたいですか？

	n	%
とても使いたい	1387	30.5%
まあ使いたい	1760	38.7%
あまり使いたくない	389	8.6%
まったく使いたくない	80	1.8%
わからない	926	20.4%
小計	4542	100.0%
非該当	490	
無回答	1215	
合計	6247	

69.3%の回答者が「とても使いたい」「まあ使いたい」と回答していた。

56

Q. 日本でも PrEPを導入するべきだと思いますか？

	n	%
とてもそう思う	2514	55.4%
まあそう思う	1391	30.7%
あまりそう思わない	123	2.7%
まったくそう思わない	28	0.6%
わからない	482	10.6%
小計	4538	100.0%
非該当	490	
無回答	1219	
合計	6247	

86.1%の回答者が「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答していた。

57

Q. PrEPの薬を服用するとしたら、気になることは次のうちどれですか？ ※複数回答可

	n	%
どれくらいお金が必要か	4259	95.2%
どのくらい副作用があるのか	3845	85.9%
予防の効果がどれくらいか	3238	72.4%
近所の医療機関で入手できるか	2583	57.7%
ジェネリック薬(後発医薬品)の品質	2362	52.8%
薬剤耐性の心配	2035	45.5%
その他	75	1.7%
全体	4475	
非該当	490	
無回答	1282	
合計	6247	

58

Q. HIV感染の予防のために PrEPの薬を服用した場合、コンドーム使用にどう影響すると思いますか？

	n	%
コンドームを今より使うようになると思う	460	10.1%
コンドームを今より使わなくなると思う	1986	43.8%
変わらないと思う	1825	40.2%
わからない	267	5.9%
小計	4538	100.0%
非該当	490	
無回答	1219	
合計	6247	

59

Q. HIV/ エイズの検査を定期的に受けなければいけないとしても、PrEPの薬を使いますか？

	n	%
必ず使う	852	18.8%
多分使う	2149	47.4%
多分使わない	623	13.7%
絶対に使わない	31	0.7%
わからない	878	19.4%
小計	4533	100.0%
非該当	490	
無回答	1224	
合計	6247	

66.2%が「必ず使う」「多分使う」と回答していた。

60

Q. もしもあなたがPrEPの薬を服用したとしたら、セックスの相手にそのことを伝えますか？

	n	%
必ず伝える	798	17.6%
多分伝える	1604	35.4%
多分伝えない	1325	29.2%
絶対に伝えない	61	1.3%
わからない	743	16.4%
小計	4531	100.0%
非該当	490	
無回答	1226	
合計	6247	

53.0%が「必ず伝える」「多分伝える」と回答していた。

61

Q. PrEPの薬を服用することで周囲の人にどう評価されると思いますか？

	n	%
自分のイメージがとても良くなると思う	371	8.2%
自分のイメージがまあ良くなると思う	1100	24.3%
自分のイメージがまあ悪くなると思う	761	16.8%
自分のイメージがとても悪くなると思う	130	2.9%
わからない	2158	47.7%
小計	4520	100.0%
非該当	490	
無回答	1237	
合計	6247	

半数近い回答者が、PrEPの薬を服用した時の周囲からの評価がわからないと回答していた。

62

Q. PrEPの薬を服用することに対する不安はどのくらいですか？

	n	%
とても不安	375	8.3%
まあ不安	1800	39.8%
あまり不安ではない	1281	28.3%
まったく不安ではない	225	5.0%
わからない	843	18.6%
小計	4524	100.0%
非該当	490	
無回答	1233	
合計	6247	

48.1%の回答者が、「とても不安」「まあ不安」と回答していた。

63

Q. PrEPに対して1か月最大いくらまでなら払いますか？

	n	%
200,000円以上	7	0.2%
100,000円以上200,000円未満	7	0.2%
50,000円以上100,000円未満	22	0.5%
30,000円以上50,000円未満	62	1.4%
10,000円以上30,000円未満	449	10.0%
5,000円以上10,000円未満	1526	33.9%
2,500円以上5,000円未満	1388	30.8%
2,500円未満	1042	23.1%
小計	4503	100.0%
非該当	490	
無回答	1254	
合計	6247	

半数以上の回答者が5,000円未満と回答していた。

64

Q. PrEPの薬の入手場所として最も好ましいと思うのはどこですか？

	n	%
クリニック/診療所	1192	26.6%
病院	912	20.3%
ドラッグストア	1123	25.0%
NPO/NGO	70	1.6%
ネット通販	1166	26.0%
その他	22	0.5%
小計	4485	100.0%
非該当	490	
無回答	1272	
合計	6247	

PrEPの薬を処方する医療機関に希望することがあれば、自由にご記入ください。

(約 300 人の書き込みから抜粋)

- ・ 保険適用がされて安価に利用できないと広まらないと思う HIV 検査と合わせて費用の問題が一番大きいと思う (30 代、ゲイ)
- ・ PrEP が日本でも医療機関で保険適用になれば是非利用したい。その際の医師の LGBTQ への理解はして頂きたいです。医師に私がゲイである事を抵抗なく伝えられるようになる事を望みます。(40 代、ゲイ)
- ・ アメリカでは保険がきくためたくさんの LGBT の人が使っています。それによってパートナーが HIV の場合でも安全に性行為をする事もできます。日本でも早く導入されて欲しいと願っています。(30 代、ゲイ)
- ・ 偏見なしに処方できることを望みますが、医療現場で働いている自分自身の感覚からは、現状では無理でしょう。(40 代、ゲイ)
- ・ 匿名診察にての処方にしてほしい。カルテに記載した場合、同じ医療機関では情報が統括されるため知れ渡るの嫌だから。(20 代、ゲイ)
- ・ HIV を予防できるのなら、セクシャリティに関係なく情報提供を広く行なって欲しい。セクシャルマイノリティだけの予防薬という印象を、持たれないように細心の注意を払って欲しい。保健所の HIV 検査のように、匿名で検査が受けられるように改善されたら良いと思う。(40 代、その他)
- ・ プライバシーに関わる事を質問することもあると思いますが、その時は十分な配慮をしてもらいたい。また、話しやすい環境を整えてもらいたい。(40 代、ゲイ)
- ・ プライバシーの遵守。関東だけでなく、全国で受診できるようにしてほしいです。(30 代、ゲイ)
- ・ プライバシーの保護は徹底してほしい。きちんと薬の説明をしてほしい。アフターケアを十分にしてほしい。(20 代、ゲイ)
- ・ 薬剤師が対面で薬の説明をして欲しいかどうかの文面を問診票に記載して欲しい。他の人に聞こえるような声で名前を呼んだり薬の説明をしないで欲しい。はたから見た時に何の薬か分からない様な薬袋にして欲しい。(30 代、ゲイ)
- ・ とてもデリケートな内容なので、扱う以上は PrEP についての知識をしっかりと把握し、且つ処方される側の立場になってプライバシーを遵守して頂きたいと思う。(40 代、ゲイ)
- ・ ジェネリックでもいいので日本で手軽に入手できれば便利になります。また PrEP を使う人が増えてコンドームの使用率が低くならないか心配です。性行為する人は必ず学ぶ環境があれば、HIV の感染率を下げれると思います。(30 代、ゲイ)
- ・ ジェネリック医薬品を使いたい。先発品を全額自己負担など、到底払える金額ではない。対面での初診以降はオンライン診療でネットで薬を購入できるようにしてほしい。(20 代、ゲイ)
- ・ なんか差別的な目で見られそうなので、そういうのが無くなると良いと思う。もっと言うと、ネットで買えると良いと思う。(30 代、ゲイ)
- ・ もし国内でも PrEP が入手できるようになるとしたら、医師に相談して処方してもらおうというのはやはり身上を打ち明けなければならないため抵抗を感じる方が少なくないと思う。コンドームを買うのと同じように、気軽に手に入ると良いと思う。市販薬として買えるのなら、健康保険で社会負担が増大することもないのではないか。もちろん、望ましいのはコンドームによる予防なのはもちろんだが、コンドームをしないなら PrEP は飲もうと多くの人が考えられるようになれば、HIV の感染は減っていくのではないかと感じた。(30 代、ゲイ)
- ・ 性病を扱うクリニック外でも申告して出して欲しい。(30 代、ゲイ)
- ・ 性病科や泌尿器科じたいがかかりにくい。(30 代、ゲイ)
- ・ ED 薬のような自由価格ではなく、公定価格であるべき。また、高額になるのなら行政の補助が必要だと思います。(40 代、ゲイ)
- ・ もう自分は感染してしまったので服薬治療してますが、早く予防できるように普及させて欲しい。安価な治療薬を飲んで予防できるのであれば、素晴らしいと思います。(40 代、ゲイ)
- ・ 現状でも 1~2 箇所国内でクリニックを通じて購入できることは知っているが大変高価で手を出せる人は大変少ないと思う。(20 代、ゲイ)
- ・ ゲイの趣向的なセックスのためだけではなく、むしろ、性犯罪で被害を受けた方がすぐに対応してもらえるくらい、身近で認知度が高い薬であってくれたらと思います。(40 代、ゲイ)
- ・ 医療機関だと、アンケートや診察で自分がゲイだということを確認される気がする。それはカミングアウトしていない人間には抵抗がある。ストレスなく対応してくれることを望む。(40 代、ゲイ)
- ・ ED 治療薬並みに容易に入手は可能でも、処方に当たっては明確に医師からの指導が受けられるのがのぞましい。特に通院段階で疑われることもあるので、処方できる医院は広範囲であることが理想。(40 代、ゲイ)

その他、何かご意見があれば自由にご記入ください。
(約250人の書き込みから抜粋)

- ・3ヶ月に一度の検査がもう少し簡略化されるようになると始めやすい(40代、ゲイ)
- ・もっとコンドームを普及させる方がより良いのではないのでしょうか?(60代、ゲイ)
- ・時期尚早だと思う。まずは満身にセーファーSEXが浸透してきて、当たり前になってから使用を提案すべき。完全に順番を間違えてる。(30代、ゲイ)
- ・検査のときに、医者に予防薬のことを聞いたが、よくわかっていなかった。だから、どの位予防になるか疑問に思った。本当の知識を知りたい。(40代、ゲイ)
- ・私の意識が低いせいか『PrEP』について初めて知りました。現状、PrEPについて、私のように無知な方が大勢おられるとおもうので、もっと情報提供の必要があると感じました。若い世代の方でも簡単に手をつけられるような料金で尚且つ、入手しやすければ広まると思います!(20代、ゲイ)
- ・正直 PrEPについて何も知りません。もう少し積極的に周知するようなことがあってもいいのかな、とは思いました。(50代、ゲイ)
- ・二回つかい、二回とも副作用が出たので使っていない。左顔面に痺れと痛みが出た。副作用が出た時にセカンドチョイスがあるか、副作用を抑える薬があればとおもうが、海外含め副作用の情報が少ない。(30代、ゲイ)
- ・日本では HIV 陽性の人や性病が蔓延しているし増える速度も速くなっていると感じるけど、PrEPやHIVの無料検査の事などについて知る機会が少なすぎると思う。いつになったら性に対して社会全体でオープンに真面目に語り合えるようになるのか、なぜ性に対し閉鎖的な風潮が続いているのか、お国柄で片付けるのは時代遅れな言い訳だと言いつらざるを得ないほど、日本社会の HIV や性病に対する認識は乏しい。根本的な知識を知る事の出来る場所がもっと増えたらいいと願っています。(30代、ゲイ)
- ・PrEPは日本では保険適用外であり、後発医薬品も無いが、年間の HIV 感染者は増え続けていることから、早期の普及が必要だと思う。(20代、ゲイ)
- ・コンドームを使用しないセックスが目的で PrEP を服用する気はないですが、ごく稀にコンドームを所持していない時にコンドームフリーのセックスをしてしまう場合があり、その後3ヶ月 HIV 検査を受けるまで不安なため PrEP を服用出来ればと思います。(50代、ゲイ)
- ・現状、国内で医療機関にかかって prep の薬を処方してもらおうと、到底払える金額ではない。使う人がいるとは思えない。それに、毎回診察を受けに行くのも面倒だし抵抗がある。海外の通販サイトでツルバダのジェネリックを月5千円程度で購入できるので、国内医療機関で処方してもらおうメリットが金銭的に無い。初診以降はネットで診察を受けることができ、薬もジェネリック品をネットで購入できるようにしてくれないと、オンラインでツルバダのジェネリックを個人輸入するだけだと思う。(20代、ゲイ)
- ・いまは海外の PrEP サイトから購入していますが、できれば国内で安全な PrEP を扱うサイトがあればそこから買いたいです。NPO やクリニック運営などの保障された機関として。(20代、ゲイ)
- ・海外には Prep は医療保険がききます。同じく女性のピルも保険対象品なので、コンドームも Prep も対象品になるべきです。感染と性病の拡大を防ぎたかったら、教育とツール(薬、コンドーム)等を無料か安く提供すべきですが、日本で高すぎるか、提供されていないため、海外で買ってしまいます。日本はいろいろ遅れていると思います。(30代、ゲイ)
- ・現状でタイに渡航した際にクリニックを受診し薬を調達しています。日本国内で、廉価に薬を入手出来るようになる事を強く希望します。(30代、ゲイ)
- ・個人輸入で高額でしか現在購入できません。都会は性病が蔓延しており、1日も早く安い価格で入手しやすい環境を作っていくべきと考えます。また、肝炎の予防接種等も補助が必要と考えます。(20代、ゲイ)
- ・日本は国民皆保険で医療費の増大を考慮すると予防医療が全額自己負担になることは理解はしている。これだけ特例を認めて欲しい要望もないため、現在個人輸入を考えている。しかし、インターネットでの個人輸入は流通経路など偽物の不安がつきまとう。早く日本国内の医療機関でもジェネリックのテンビル処方を解禁してほしい。(30代、ゲイ)
- ・日本は先進国の割に、この様な欧米では既に当たり前の事がなかなか認可されない事が多いのが疑問です。ゲイの間で現在覚醒剤を使用してSEXをしている人達が増えて、それに台湾への渡航者も多くドラッグSEXをして来るゲイもたくさんいるようですが、前東京都知事がゲイ嫌いでラッシュを禁止にした事が原因で、この様な日本になってしまったので、逃げ道を作らなかった日本政府が原因で HIV 感染者や覚醒剤患者を増やしてしまったのを反省して欲しいですね。ラッシュなんか日本以外の国では普通に使われ販売されてますし、日本は全てを禁止にしてしまいこんな世の中にした日本政府に責任があると思います。(50代、ゲイ)
- ・ツルバダが国内では高すぎる。後発品の個人輸入は品質に不安が残る。自身はオーストラリアの永住権を所持しているため、訪れた際にオーストラリアの国民保険適用で先発品のツルバダを1瓶40豪ドルで半年分の6瓶購入し日本に持ちかえっている。オーストラリアでは自費でも先発品のツルバダを300ドルと日本より大幅に安く購入できる。保険適用にならないことを差し置いても、日本ではツルバダを自己負担で購入すると1瓶15万円もかかり高すぎる。自己負担でも正規のツルバダあるいは日本生産の後発品を先進国と同等の値段で購入できるようになってほしい。(20代、ゲイ)
- ・認可、および安価で購入できるようになることを強く望んでおります。(20代、ゲイ)
- ・アンケートを受けて、自分は prep に関する知識が乏しいと感じました。HIV と同様に prep に関する知識を学ぶゲイ向けのサイトができれば嬉しいです。(30代、ゲイ)

- ・情報が少ないのと、一般への認知度の低さが問題だと思います。今後、国の支援などで、普及させれば、感染者の数も減らせるのではないかと思いますので、早く皆に利用しやすい環境にして欲しいと思います。(30代、ゲイ)
- ・このような、HIVに関わる正しい知識を自然と伝えられるような広告をもっと増やして欲しい(40代、ゲイ)
- ・海外でも若者でPrEPやってる人は多い。継続できる安価な価格設定が必要。(30代、ゲイ)
- ・U=Uに加え、PrEPが浸透することで、陽性者への偏見や差別が緩和されるのならば(相手が陽性であっても関係のない人が増えるということなので)、流通には感染を防ぐ以上の価値があると思います。あと、モデルさんが可愛かったです。応援していますので、頑張ってください。(30代、ゲイ)
- ・性経験が皆無の研究参加者にとっては回答しにくい問いがみられた。選択肢を再検討して欲しい。PrEPがHIV 楽観論のようなモラルハザードにつながる懸念がある。入手ルートに医療職が介入することでコンドーム常用を促すこととプライバシーの確保の両立が課題だと考えられる。(20代、ゲイ)
- ・あくまでもHIVへの対策であり、他の感染症については予防できないことをしっかりと併記して欲しい。(40代、ゲイ)
- ・この薬を使うことで蔓延してる性感染症への啓発が足りないと思う。寧ろナマ乱行や発展場での危険行為を助長させているだけ。パートナーがHIVの場合のみ使えとか、条件を課さないとなんのための薬なのか疑わしい(40代、ゲイ)
- ・何のために使うのか、そしてその感染防止の不確実性はしっかりと伝えないと間違った使い方をされて逆に蔓延してしまうリスクがあると思う。(30代、ゲイ)
- ・他の病気もそうだが、保険制度が病気の発症後を前提としており、予防の観点で排除されている現状では、啓蒙にも限界があるのではないかと。(40代、ゲイ)
- ・中には安心してしまう人もいるかもしれません。いいような悪いような気持ちです。服用しているから絶対という意識が怖いと思います。その意識にならないように服用したいと思います。何もしないよりはリスクは少ないのは確実だと思うので私は関心があります(30代、ゲイ)
- ・コンドーム使用率低下の可能性があるのでprepの定期検診においてHIVのみでなく梅毒や性感染症の検査も義務付けるべきだと思う(20歳、バイセクシュアル)
- ・Xジェンダーについて、もっと情報が欲しい。職場で、世間でどうすれば生きていきやすくなるのかのアドバイスや、そのための会などもあれば参加したい。(20代、その他)
- ・HIVに感染しているのに気づいてない人が多い日本なので、予防に対するアクションは早めにして欲しいと思う。もちろんコンドームも含めて。(20代、ゲイ)
- ・hivはゲイにとって、ヘテロの人の成人病とほぼ同じくらいの関係だと思う。ただ、細々と生き長らえるよりは、太く短い人生の方を望む自分が居ます(40代、ゲイ)
- ・HIV陽性者がパートナーだったが、研究がこれからということもあり、強い薬の腎臓や肝臓へのリスク理解が不十分だった。透析が多くなっていないか？(50代、ゲイ)
- ・PrEPに係る詳細で明確な情報や入手経路。伴う副作用などの説明等が簡単に知る事が出来れば望ましい。また、安価に入手出来、多くの方に用いられ、感染予防に役立つ事を希望する。(40代、ゲイ)
- ・PrEPに税金を使われる事に嫌悪感を覚える。(40代、ゲイ)
- ・PrEPの情報について触れられる機会が全くないので、もっと情報が広まるといいと思う。ゲイ雑誌でとりあげられていたかと思うが、情報がわかり辛く内容をあまり覚えていない。(30代、ゲイ)
- ・PrEPは感染不安を抱えられた高所得層しか救えないと考えます。もっとやらないといけないことがある気がします。(30代、ゲイ)
- ・PrEPも毎日服用する錠剤タイプが主流だが、アメリカでは注射剤で月一回投与の製剤もあると聞く。注射剤のほうがQOLは高いと思う。(20代、ゲイ)
- ・PrEPの処方にあたって、意図せずに知り合いや他人にセクシャリティーが知られる危険性があるので、使えない人が出てくる。(30代、ゲイ)
- ・PrEPを服用すると知られたら遊び人のレッテルを貼られそう(40代、ゲイ)
- ・prepを浸透させるのも大事だし、一人一人もっと気軽に検査が行けるようになればいいのと思う。気軽にセックスしてる人でどれだけの人がちゃんと検査しているのか…(40代、ゲイ)
- ・コンドームと同じぐらい手軽に手に入り手軽に購入出来る値段。(40代、ゲイ)
- ・プレップの使用については女性のピルのようなものと個人的には思っている。副作用の有無については個人差もあるし、他の薬の組み合わせの課題もある。あったらあったで友人に手軽に渡したりする可能性や闇サイトのような所での販売も出てくると思う。(30代、ゲイ)
- ・海外からの入手方法(50代、ゲイ)
- ・金額は幾らなのか。無料で近い金額にできないのか。あと、ネーミングがわかりにくい。もっと呼びやすい名称は出来ないものか。(40代、ゲイ)
- ・具体的にどんな病院の何科に掛ければ良いのか分からない自分でも処方箋が出るのか不安(40代、ゲイ)
- ・私自身は腎機能の数値がやや悪くPrEPは向かない気がしている。ただ望んでいる人はいるはずだし、選択肢は無いよりあった方が良いと思うので調査研究は進めてほしいと思う。(40代、ゲイ)
- ・処方してもらうときに、なんて伝えたらいいのかわからないと思いました。HIVに感染したくないけど、生でセックスしたいですって言うようなものかと思われるかと。(30代、バイセクシュアル)
- ・処方箋なしで薬局で販売するいわゆる「売薬」として入手できるようにしてほしい(50代、ゲイ)

- ・女性の経口避妊薬が解禁されてから、心配されていた経口避妊薬の副作用は大丈夫だったのか、貞淑を守るという本来あるべき道徳の妨げになったのかなどの問題を総括すれば、Prepの参考になると思う（40代、ゲイ）
- ・常にハイリスクな行為を繰り返している人だけではなく、たまたまハイリスクな事（たとえばレイプなど）にさらされた人がとれる感染対策も、もっと検討してもらいたい。（40代、ゲイ）
- ・男性のゲイなので医師と話し合うときに二人きりになるか周りに女性の看護師がいると話づらい。（60代、ゲイ）
- ・日本はまだ経済的に余裕がある人が少ない割には安価に安易に性サービスを求めたり、何がリスクがある行為がよくわかっていない人が多いです。ですので、PrEPしていると嘘をついてペアバックを求めてくる人も出てきそうなので、基本的に信用するつもりはありません。（30代、ゲイ）
- ・保険がきいて自己負担が抑えられたら助かりますが、自由診療なんですか？（40代、バイセクシュアル）
- ・毎日飲み続けなければ意味がないなら、必ず飲まなくなる。予防注射のように一度で長期間効果のある薬なら普及するかも知れないが。（50代、ゲイ）
- ・薬には何らかの副作用は必ずあると感じている。今現在分かっている副作用はどのようなものがあるのか？（40代、ゲイ）
- ・予防を過信して危険行為を行う人が増えそうだが、セックスの楽しみに選択肢が増えるのはいいことだと思う。（30代、バイセクシュアル）
- ・例えば HIV 感染者との交際を考えた時、例え相手が検出値以下でも大きな精神的負担を強いられるが、Prepの使用により軽減される。というような効果も考えてもらいたいです。（50代、ゲイ）

Q HIVに感染していても、治療を継続することで血液中からHIVがほとんど見つからなくなるレベルに減少する。

A 正答：○

最近発表された論文¹⁾によると、日本国内で抗HIV治療を受けているHIV陽性者のうち、99.1%の人が検査で検出できないレベルまで血液中のHIVが減少している(検出限界以下)と報告されています。適切な治療を受け検出限界以下が持続しているHIV陽性者は、HIV陰性のパートナーにセックスを通じてHIVを感染させるリスクは事実上ないことが近年の研究²⁾で明らかとなっています。

Q HIVに感染していても、治療で血液中にHIVが見つからないレベルの状態(検出限界以下)が継続していれば、セックスを介して相手に感染させるリスクは事実上ない。

A 正答：○

普段コンドームを使用しないHIV陽性者とHIV陰性者の男性同性間カップルを対象としたセックスにおけるHIV感染リスクを調べた最近の研究²⁾によると、適切な治療を受けHIVが血中から検出されないレベルにまで減少している状態(検出限界以下)が6か月間以上持続しているHIV陽性者からは、HIV陰性パートナーにセックスを通じてHIVを感染させるリスクは事実上ないことが明らかとなっています。もちろんコンドームは淋菌やクラミジアなどHIV以外の他の性感染症を予防するためにも必要なものなので、セックスの際には引き続きコンドームを使用することが推奨されます。

Q PrEPを始める前に検査を受けてHIV陰性を確認する必要がある。

A 正答：○

PrEPは抗HIV薬を服用するという点ではHIVの治療と一緒にですが、「治療」と「PrEP」では服用する抗HIV薬の数が異なります。現在HIVに感染している人に対する「治療」には3～4剤の抗HIV薬を組み合わせて内服することが標準となっています(多剤併用療法)。一方「PrEP」ではエムトリシタピンとテノホビルDFという2成分の薬の合剤であるツルバダ配合錠のみを内服することになっています。もしもすでにHIVに感染している人がご自身のHIV感染を知らずにPrEPをしようとしてツルバダ配合錠のみを内服した場合、本来3～4剤の抗HIV薬の内服が必要にもかかわらず2剤のみの不十分な治療を続けることとなり、ウイルスが薬剤耐性変異(薬が効きにくいウイルスに変わってしまうこと)を起こしてしまうリスクがあるので避けなくてはなりません。そのためPrEPを行う前には、必ず信頼できる血液検査でHIVが陰性であることを確認する必要があります。またPrEP中に新たにHIVに感染していないことを確かめるため、3か月ごとにHIVの血液検査を医療機関で受ける必要があります。

Q PrEPを始めた後は、3か月ごとに定期的に医師の診察を受けなければならない。

A 正答：○

PrEP服用中の人HIVに感染した場合、ウイルスが薬剤耐性変異を獲得するのを防ぐため、できるだけ早期に3～4剤からなる抗HIV薬による治療(多剤併用療法)を開始しなくてはなりません。したがって定期的(およそ3か月に一回)HIVの血液検査をしてHIVに感染していないかを確認する必要があります。またPrEPに使用されるツルバダ配合錠には、まれに腎機能障害などの副作用を起こすことが知られているため、副作用がないかを調べるために医療機関を受診し定期的な血液検査を受ける必要があります。さらに定期的に医療機関を受診することで性感染症を早期に発見・治療を受けることができる利点もあります。

Q PrEPを始めた後は、一生飲む必要はなく、やめることができる。

A 正答：○

パートナーとの関係やあなたの置かれている状況によってHIV感染リスクは変化します。HIVに感染するリスクがなくなったり、他の予防方法を使いセーフセックスができるのであれば、PrEPは必要ありません。

Q PrEPの薬にはジェネリック薬（後発医薬品）も存在する。

A 正答：○

現在 PrEPに使われている薬は、日本では「ツルバダ配合錠」という名前で認可され発売されている抗 HIV 薬です。一方海外ではジェネリック医薬品（後発医薬品）といって、先発医薬品の特許期間が切れたあとに後発医薬品メーカーが製造した比較的値段の安い薬も発売され、このジェネリック薬を PrEPに用いている国もあります。しかしながら現在日本ではこのツルバダ配合錠のジェネリック薬（後発医薬品）は認可されておらず、もし仮に入手しようとした場合は海外から個人輸入をする必要があります。

もしも海外からジェネリック薬（後発医薬品）を個人輸入して PrEPに使用した場合でも、定期的に医療機関を受診して、血液検査や性感染症の検査などを受けることが望ましいと考えられます。

Q 海外では、性行為の前後の決められた時間に服薬する PrEPも提案されている。

A 正答：○

現在多くの国で推奨されている PrEPは、ツルバダ配合錠を一日一回一錠毎日継続して内服する方法です。この方法は海外では「デイリー PrEP」と呼ばれています。一方たまにしかセックスしないなど HIV への暴露機会が少ない人などには、HIV に暴露する機会前後のみにツルバダ配合錠を内服する方法の PrEP も代替法として実施されている国もあります。この暴露機会の前後のみ内服する方法を海外では「オンデマンド PrEP」と呼んでいます。具体的にはセックスなどの暴露機会の 2～24 時間前までにツルバダ配合錠を 2 錠、暴露があった 24 時間後に 1 錠、さらに 48 時間後に 1 錠、合計でツルバダ配合錠を 4 錠計画的に内服する方法です。オンデマンド PrEP の効果としては連日内服するデイリー PrEP とほぼ同等の HIV 感染予防効果があるとされていますが、膈性交をする女性には予防効果が不十分とされ推奨されておらず、注意が必要です。

Q PrEPの薬を服用していても HIV以外の性感染症にはかかってしまうので、性感染症の予防にはコンドームの使用が有効である。

A 正答：○

PrEP を行い毎日欠かさずツルバダ配合錠を内服することで、HIV に感染するリスクを 90%以上減らすことができます。一方 PrEP は HIV の感染リスクを減らすことはできても、それ以外の性感染症（淋菌やクラミジアなど）を予防することはできません。したがって PrEP をしていても、セックスの際にコンドームを使用することは、あなたとあなたのパートナーの健康にとって大切です。

¹⁾ Iwamoto A et al, The HIV care cascade: Japanese perspectives. PLOS ONE. doi.org/10.1371/journal.pone.0174360. March 20, 2017.

²⁾ Rodger A et al. Risk of HIV transmission through condom less sex in MSM couples with suppressive ART: The PARTNER2 Study extended results in gay men. AIDS 2018, 23-27 July 2018, Amsterdam. Late breaker oral abstract WEAX0104LB. <http://programme.aids2018.org/Abstract/Abstract/13470> <https://tinyurl.com/y6tweapv> (webcast)

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「PrEP に関するアンケート調査」報告書

発行日：2019 年 3 月

編集：生島 嗣（特定非営利活動法人ぶれいす東京）
山口正純（武南病院）
三輪岳史（特定非営利活動法人ぶれいす東京）
大槻知子（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

デザイン：近藤英治

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 4-11-5 三幸ハイツ 403

特定非営利活動法人ぶれいす東京 研究・研修部門

URL: <https://prep.ptokyo.org/>

Mail: kenkyu.keiri@gmail.com

本報告書は、平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制に関する研究」（研究代表者：水島大輔（国立研究開発法人国立国際医療研究センター））分担研究「日本在住 MSM の PrEP（曝露前予防）に関する意識や行動に関する研究」（研究分担者：生島嗣）により制作しました。調査にご協力・ご参加いただいた皆様に感謝します。

※データを引用される際にはご一報ください。

[PrEP in JAPAN] <https://prep.ptokyo.org/>

PrEPを中心に、ゲイ・バイセクシュアル男性
(トランスジェンダーを含む)の性の健康を支援する情報を発信する
Webサイト

